

# キャッチ通信



第 57 号  
令和 6 年  
11 月発行

## 職員紹介

新しい職員が仲間入りしました。  
皆様どうぞよろしくお願ひいたします。



### 委託相談部門 米倉 敦子（よねくら あつこ）



8月より委託相談部門に入職しました米倉敦子と申します。

以前は通所施設の現場で支援をしていました。高齢分野や就労継続支援での現場では安心して通っていただけるような支援を心がけていました。

この度キャッチに入職するにあたり知識も経験も足りない私ですが先輩方の隣で多く学びキャッチの理念にもある生活に必要な資源づくり、地域で安心して暮らせる街づくりの具現化に向けて活動を行っていこうと思っています、よろしくお願ひいたします。



ランニングが趣味で基山町にある総合公園の外周や三田川公園外周などでよく走っています。たまに高良山も・どこか景色がきれいな公園など教えて頂けると嬉しいです。



### 委託相談部門 武内 陽子（たけうち ようこ）



10月に入職した武内陽子と申します。

これまで精神科病院や公的機関で相談支援等の仕事をしてきました。利用者の方と一緒に活動やお話をする中で、様々なことを教えていただき支えられてきたように思います。

10数年ぶりに鳥栖市内で勤務することになり、以前と比べ社会資源がかなり増えていて街が様変わりしていることにとても驚いています。

今の環境に早く慣れて、誰もが住みよい街づくりの活動を皆さんと一緒に取り組めたらと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



趣味はこれ、と言えるようなものはありませんが、大型ショッピングセンター内をウロウロと見て回ることが気分転換になっています。また、美味しいものを食べると幸せな気分になります。



～令和6年度鳥栖・三養基地域自立支援協議会研修会～



## 『私の生活を知ってもらいたい』

### 障害のある方が想いを表明できるような支援、地域づくりを目指して



10月23日、上峰町民センターにて鳥栖・三養基地域自立支援協議会研修会を開催しました。当日は当事者として上峰町在住の黒岩隆氏、支援者であるいのくち医院の猪口寛先生、コースタイルケア佐賀の森崎一也氏にご登壇いただき、重度障害者の地域生活における支援の実際や、意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）をテーマに、参加いただいた90名の方と一緒に考える機会となりました。



黒岩さんは学生の頃に、進行性骨化性線維異形成症（FOP）という病気を発症し、4年前に転倒してからベッド上での生活になりました。この病気は体の動きに制限があり、怪我をすると病気が進行してしまうリスクがあります。難病と闘いながらも自分らしい生活を探し、車いすで地域に出かけ毎日の生活を楽しまれている黒岩さん。病気のこと、将来のこと、体が思うように動かない歯がゆさの中で黒岩さんが何を思い、何を感じながら生活されているのかを知る貴重な機会となりました。



また、黒岩さんが毎日の生活をどうしたいのか、したくないのかを聴き、できるだけそれに合わせて支援すること、その実践についてご登壇いただいた支援者お二人にお話をいただきました。

研修会後半では、意思決定支援の実現に向けた取り組みと、ACPはどうあるべきかについて猪口先生からご説明いただき「人生の終わりをどのような形で迎えたいか」当事者と話し合うことの重要性についてお話しいただきました。

### 主治医 猪口先生よりメッセージ



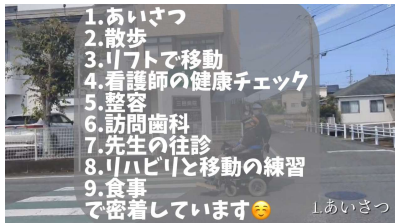
研修会において、FOPという病気の特徴と意思決定支援のツールとしてのACPの話をしていただきました。実際に障害をもった方々からの質問にも熱い思いを感じました。改めて私達に何が出来るかを考える良い機会であったと思います。身体健全な人でも100%満足しているという人はほとんどいないでしょうし、ある意味それが人間という生き物なのかもしれません。ACPにおいて、落とし所を探るというのも大事なポイントの一つになります。上手くこのツールを使っていただけます様に願っています。

（いのくち医院 猪口寛先生）



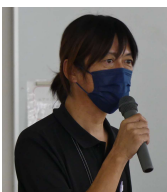


## 研修会では「黒岩さんのある一日」を動画でご紹介しました



### 支援者 森崎さんより

研修会へ参加させていただきありがとうございます。黒岩様の支援を通して障害福祉サービスの重度訪問介護について、ご参加いただきました皆さまへご紹介させていただけたこと感謝いたします。ご利用者、ご家族の思いに可能な限りお応えし安心できる訪問介護サービスをお届けしたいと考えています。しかしながら私どもだけでできることは限られています。支援には相談員、医療の皆様など多職種の方々との連携によって成り立っています。今回の研修会ではこのことを改めて実感いたしました。黒岩様の支援もこれからまた多様なご要望をいただくとお思います。大好きな外出をはじめ新しいことにもご本人様とともに歩いていきたいとお思います。



鳥栖、三養基地区でこれからも福祉サービスをしっかり取り組んでまいりたいと考える一日となりました。

(ユースタイルケア佐賀 森崎氏)

### 協議会会長 原先生より

まずは、黒岩様、講師をお引き受け頂きありがとうございました。会場にはお花が届き、研修会終了後は黒岩様と記念写真を撮るための行列ができる等、黒岩様のお人柄を伺うことができました。

寝たきりの状態から現在のように行動できるようになるために、ご本人の努力もさることながら、訪問介護の方々、歯科の方々、訪問看護の方々、主治医の猪口先生といった多岐にわたる関係機関の方々の細やかで多大な支援があることが十分わかりました。

また、並行して人生会議 ACP に基づきおこなわれていることも、今後の黒岩様の将来を明るくするために必要であることもわかりました。黒岩様の研修会は、この地域で障害のある方が自分の想いを叶えて暮



らせるロールモデルとなれる可能性や関係機関が協力していくことの大切さを強く感じることができたメッセージになったとお思います。

(州都綜合法律事務所 原先生)

Thank you!

当日は黒岩さんのお人柄が表れたような終始温かい雰囲気の中、開催することができたように思います。参加者からのアンケートに「障害を持った方が社会で生活する事は、障害を持った方々に勇気や希望を与える事であり、社会が変わるきっかけがそこにあるとお思いました。」とご感想をいただきました。今後も継続して当事者の方から学び、支援に活かせるような研修会を開催していきます。また、障害があっても安心して地域で暮らし続けることが出来る街づくりへの道のりを引き続き探っていきたいとお思います。研修会の開催に際し、黒岩様、ご家族様、ご登壇いただいた皆様、ご協力いただき心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

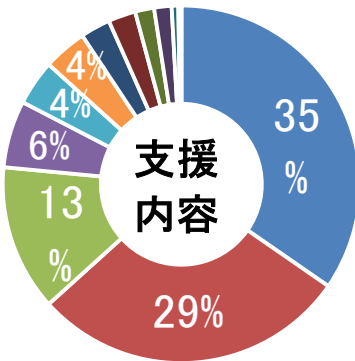
# キャッチ 令和6年4月～9月の相談件数



## 1市3町 相談件数の総数

(件)

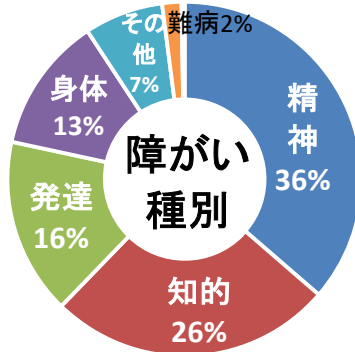
鳥栖市	みやき町	基山町	上峰町	合計
3,170	1,520	727	660	6,077



## 支援内容の内訳

(件)

障がい・病状理解	福祉サービス利用	健康・医療	家族関係・人間関係	就労	家計・経済	その他
2,105	1,743	803	369	248	240	165
権利擁護	不安解消・情緒安定	生活技術	保育・教育・療育	社会参加・余暇活動		合計
151	105	95	36	17		6,077



## 障害種別の内訳

(件)

精神	知的	発達	身体	その他	難病	高次脳機能	重心	合計
2,207	1,578	979	751	438	106	10	8	6,077

ちょっと一息



11月の主な果物 柿

国産メジャー果物 No.1 のビタミンC

柿には、大きくわけて、『甘柿』と『渋柿』があります。特に甘柿には、ビタミンCがみかんやレモン果汁はもちろん、いちごやキウイ(緑)よりも多く、国産のメジャーフルーツ No.1 の含有量を誇るそうです。



○鳥栖市・みやき町・基山町・上峰町にお住まいの障害者本人、障害のある方を支えている家族及び支援者からの相談をお受けします。障害の種別、手帳の有無は問いません。相談は無料です。

<相談窓口開設時間>

9:00～18:00 (月曜日～金曜日) 9:00～17:00 (土曜日)

上記の時間帯以外でもご相談をお受け致します。事前にご連絡ください。

特定非営利活動法人 総合相談支援センターキャッチ

住所: 佐賀県鳥栖市宿町 1041-3

(代表)電話: 0942-87-8956 FAX: 0942-85-9003

Mail: so-sodan@tosumiyaki-sodan.or.jp

URL <https://www.tosumiyaki-sodan.or.jp/>

～編集後記～

長かった猛暑もやっと終わりを告げ、過ごしやすい季節になったかと思えば、今年はあるという間に冬になるとか。。。日本の四季は最近二季化しているようです(涙) せめて秋を感じる食べ物だけでもゆっくり堪能したいと思います！

酒井